

会議録

会議の名称	令和3年度 第2回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	令和3年10月12日（火） 午後7時から午後8時20分
開催場所	田無第二庁舎4階会議室2・3
出席者	委員：（対面）廣瀬委員長、田中副委員長 （オンライン）青木委員、葛西委員、猪股委員、中野委員、濱崎委員、中村委員 （欠席）藤井委員、田邊委員 事務局：堀文化振興課長、文化振興課栗林課長補佐（兼文化振興係長）、文化振興課文化振興係神田主事、文化振興課文化振興係吉岡主事
議題	1 「令和3年度施策・事業評価(令和2年度分)」調査結果 2 その他
会議資料の名称	【当日机上配布資料】 資料1 西東京市第2期文化芸術振興計画「令和3年度施策・事業評価(令和2年度分)」調査表
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>【以下、廣瀬委員長にて議事進行】</p> <p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リバウンド防止措置期間中であることから、できる限りオンラインによる参加としたことを説明。 <p>2 【議題1】「令和3年度施策・事業評価(令和2年度分)」調査結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回推進委員会において、資料1における各所管課からの回答内容等について、幾つかの確認事項が出ていた。確認事項について事務局より回答。 ・調査表8ページ 基本方針1「参加のきっかけづくり」 施策4市民に届く効果的な文化情報の提供 から議論を行った。 <p>○委員：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査表9ページ【1-4-2】行政の掲示板などについて、掲示板を増やすことはできないか。 <p>○事務局：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲示板数の今後の方向性について秘書広報課に確認する。 <p>○委員：</p>	

・児童青少年課の主な実績には市ホームページ、ツイッター、フェイスブックでの情報提供をしたと記載されているが、市としてインスタグラムでの情報提供は検討していないのか。

○事務局：

・インスタグラムの活用についての考え方は秘書広報課に確認する。

○委員：

・交通課の主な実績に記載のある、はなバスの車内広告とはどのようなものか。

○事務局：

・紙媒体の広告を天井近くの枠に掲示するものと、一部窓に貼るシールによる広告がある。

○委員：

・他のバスでは料金表のデジタルサイネージに広告が表示されていることがあるが、はなバスにデジタル広告はないのか。

○事務局：

・はなバスにもデジタルサイネージはあるが、次のバス停の案内などに使われており、広告表示はされていない。

○委員長：

・田無庁舎1階に掲示されている俳句について、他の場所にも掲示した方がよいのではないか。

○委員長：

・街中に掲示されている「見のがしてたね、西東京」と書かれた大きなポスターについて、市を愛する気持ちを市民に出していくというのはいいことである。

○委員：

・調査表11ページ【1-4-3】議会事務局の主な実績に記載のある「議場コンサート」について、中止となっているが、配信のみ行うことはできなかったのか。

○事務局：

・配信のみ行うことができなかったのかという意見があったことは議会事務局に伝える。

【以下、田中副委員長にて議事進行】

○委員：

・12ページ【1-4-5】市民への文化芸術関連情報の提供についてとあるが、提供するだけでなく、提供した経過や結果も確認すべきではないか。

○副委員長：

・各所管課に伝えてほしい。

○委員：

・全体的な話だが、情報発信の仕方では配信などは、市から市民に対して一方通行である。Zoomなど相互通信できるものを使用し、情報発信をするのはどうか。

○事務局：

・リアルタイムでやり取りをする情報発信は難しい面もあるが、Zoomを用いて市民の方

が参加できるイベントなどは実施している。文化振興課でも実施しており、今後は公民館でも実施を予定していると聞いている。

○委員：

- ・情報発信で相互通信できるものがあったもおもしろいと思う。ライブやイベントではZoomなどを用いたものがあるというのはわかった。

○副委員長：

- ・基本方針2「市民が活動しやすい環境づくり」に移る。

○委員：

- ・16ページ【2-1-1】文化振興課の主な実績に記載のある「ピアノの活用」について、どのような使い方をするのか。街中で自由に弾けるように設置をすることはあるのか。

○事務局：

- ・いわゆる「街中ピアノ」のようなものについては具体的な設置予定はない。市民会館にあったアップライトピアノは緑町地区会館に移設し、合唱サークルや個人の方など広く利用されている。グランドピアノは芝久保公民館に移設した。

○委員：

- ・「街中ピアノ」があれば面白いのではないか。

○委員長：

- ・「街中ピアノ」を置くとすれば具体的にどこに置けるだろうか。

○委員：

- ・まちテナの事業の中で、ペDESTリアンデッキに置くという案もあったが、移動の問題や監視する人員の確保、収納場所等課題があった。以前、まちテナスタジオ内にピアノを入れ、試験的に弾いたところ、相当な人が立ち止まって見ていた。ピアノに加え、ペDESTリアンデッキに人を誘引できるようなものを置けば、にぎやかになるのではないか。アスタのセンターホールに使われていない時だけ、自由に弾けるように置いておくことができたらよい。

ひばりヶ丘で行われたイベントにて、街中ピアノが設置されていたが、実際に弾いている人がいた。検討を重ねていけば設置できるのではないか。

○委員長：

- ・街中ピアノが設置され、著名人が弾いた動画がSNSなどに流れた場合、西東京市の宣伝になるのではないか。

○事務局：

- ・こもれびホールのロビーに置いているピアノはそういった用途で使用することは可能か。

○副委員長：

- ・可能であるが、管理などについても含め、今後検討していきたい。

○委員：

- ・16ページ【2-1-1】文化振興課の自己評価は、なぜBなのか。

○事務局：

- ・評価をすべき取組の内容が「文化芸術活動に活用できる施設について調査」となっている。調査や田無神社での取り組みなど、評価できる部分もあったが、文化芸術活動に活用できる場所の新規開拓という意味では評価をAとするほどの取り組み状況ではなかったため、評価をBとした。

- 副委員長：
・ペDESTリアンデッキの活用について、今後の展望はあるのか。
- 委員：
・緊急事態宣言が明け、通行者が増えている。喫煙所も移動され、スペースもできた。しかし、通路の真中に植栽があり、真中でライブ等ができない。また、壁沿いでライブなどを行うと点字ブロックにかかってしまう。今後はマルシェ等を出せるスペースの確保等を検討することが必要であると考え。
- 副委員長：
・意見については各所管課に伝えてほしい。
- 委員：
・16ページ【2-1-1】みどり公園課の主な実績に記載のある「ツリークライミング体験会」はどこで行われているのか。大人は参加できないのか。
- 事務局：
・下保谷四丁目特別緑地保全地区で行われたものである。
- 委員：
・先日取材したところ、重機が入れない場所の樹木の手入れをするため、ツリークライミングができる方に手入れをお願いし、興味がある方は一緒に参加し、体験することになっているとのことであった。
- 副委員長：
・調査票については本日のところは以上とする。各委員から何かあるか。
- 委員：
・田無神社のおみくじ処をギャラリースペースにし、切り絵作品の展示を行っている。来年8月31日まで開催しているが、今回の展示が終わった後も、別の方が何かしらに利用できるようなればという声があった。
- 委員長：
・以前から本委員会による取り組みとして企画していた、「TOKYO2020西東京市文化芸術フェスティバル」について、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が終わってしまったことや新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前回の推進委員会では開催は難しいという話であった。中止としたいと思う。
- 副委員長：
・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成を含めて予定していたが、機を逸してしまった感もある。中止について、何か意見はあるか。
- 委員：
・聖火リレーで使ったものやお台場に飾ってあったモニュメントを借りて展示し、展示期間にイベントを行うなどはどうか。
- 事務局：
・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関することは権利関係について非常に厳しい。組織委員も解散してしまうため、そういった相談をする窓口の確認も必要であろう。スポーツ振興課には今後何か行う予定はあるのか確認する。
- 委員：

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で注目を浴びた、スケートボードについて何かできることはないか。

○委員長：

- ・盛り上がることをやりたいが、人が集まると密になるため、難しい。

○委員：

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の児童の観戦や小学校6年生の移動教室などが中止となった中、西東京市はオンラインへの対応が早く、学校は9月3日に登校した時以降オンラインでの授業を進めてきた。オンライン授業を行っている期間、教員のスキルも上がったが、対面の授業が始まってから、対面のすばらしさを改めて感じている。今後、市で行事をやることがあれば、恐れずに進めてほしい。

○事務局：

- ・今年の市民文化祭の「日本の文化体験フェス」は例年以上に申込みが多く、特に小学生の申込みが多かった。学校で行事などの制限が多くなる中で、リアルな体験をしてほしいという保護者の思いで申込みが増えたのではないかと推測している。

3 【議題2】その他

○事務局：

- ・本委員会は19時から開催しているが、この時間帯では委員のなり手を探すことが難しい面があるとの意見がある。委員皆様の意見をお聞きするので、後日メールにて回答をお願いしたい。

○委員：

- ・ほかの委員会等は何時に開催しているのか、参考として知りたい。

○事務局：

- ・後日、回答する。

4 閉会

以上